

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013



Vol.14
11・12月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



◎三浦興一

上原 彩子



早淵 綾香

樹神 有紀

聖夜を彩る女神たちの調べ

== INDEX ==

Pick Up Artist 上原 彩子

SAKURA ONLY KNOWS

プランチコンサート Vol.17

早淵 綾香

樹神 有紀

開館 2 周年企画 作文コンクール結果発表!
さくらプラザ アートバザール 参加団体募集

連載

フランスの魅惑 -L'allure de la France- 安田 英主

出張! THE LEAPS の行ったるチャン!

サポートアーティストによるコンサートレビュー

さくらプラザ User's Voice

男は背中で物語る 戸塚見返親仁



ークラシックファン以外の方にも喜んでもらいたい。
それがわたしから社会への恩返しー

ピアニスト 上原 彩子

2002年、女性としてまた日本人として史上初めて、チャイコフスキイ国際音楽コンクール ピアノの部で優勝。わずか21歳の時だった。それから13年、愛すべき家族に囲まれながら充実した演奏活動を行う上原彩子さんに、ピアノを始めた幼少期のこと、そして子どもたちと過ごすうちに芽生えた「くるみ割り人形」への想いを伺いました。

ーまずは、ピアノとの出会いを教えてください。

3歳のときにヤマハ音楽教室に通い始めたことがきっかけです。母が音大出身でピアノを弾いていて、その後もずっと教えていたので、わたしにも習わせたいと考えたんだと思います。はじめはピアノだけではなく、歌ったり楽器を叩いたり、紙芝居を読んだことがありますね。

ー初舞台は小学校に入学する前だったとか?

そうですね。大きな舞台としては幼稚園の年長くらいに出演した、大阪のフェスティバルホールが初めてです。ヤマハでは作曲も教わるので、自分が作った1分くらいの曲を演奏しました。昔のフェスティバルホールって舞台がすごく横に長くて、真ん中のピアノのところまで歩いていくのが遠いな……って。弾いている時間より長かったんじゃない?と言われるくらい(笑)。ピアノの椅子にもよじ登らないと上がれなくて! そんな大変だったことが記憶にあります。

ーその後、10歳のときに「ヤマハマスタークラス」へ進まれたということですね。こちらはオーディションですか?

はい。周りの子はわたしより年上ばかりでしたね。わたしはクラスに入った時点で、ピアノ曲で弾いたことがあるのがモーツアルトのソナタ1曲、ショパンの『小犬のワルツ』くらいのレベルだったんです。あとはソナチネくらいしか弾いたことがなくて。そんな状態で入ったら他の子はショパンのエチュードなどを弾いていたので、すごく刺激を受けました。



2015年12月12日(土) ファミリーコンサート 親子のための特別企画 上原彩子と楽しむ「くるみ割り人形」 * 詳細は裏表紙をご覧ください

ーマスタークラスで指導を受けたヴェラ・ゴルノスタエヴァ先生(※1)にも、かなり刺激を受けられたのですか?

そうですね。それまで、本当に数曲しか弾いたことがない、まだ勉強を始めたばかりのわたしが、いきなり世界のトップレベルにいる先生に習い始めたので……。自分の中にはまだ何もない真っ白な状態だったので、だからこそすべてを吸収できたのかもしれませんね。日本人全般の傾向として、“型にはまってしまう”“正確すぎる”というような欠点があつて、彼女はまずそれを崩したかったみたいです。とにかく「自由に」と言われましたね。

それから、“鍵盤を押さえるのではなく、中から音を引き出すように”と教わりました。物理的には鍵盤を叩いているんですが、気持ち的には音を歌わせるということです。“楽譜の裏に書いてあるものを読む”ということも、10歳の頃から言われていました。

ーその頃から、将来は演奏家になろうと考えていたのでしょうか?

たぶん“演奏家”っていう職業があることもよくわかっていないで。学校の作文には「将来はショパンコンクール(※2)に出たい」って書いてありましたね。恐らくショパンコンクールしか知らなかつたんだと思います(笑)。

ー中学、高校と進まれるうちに、音大に入るかどうかで悩まれましたか?

いえ、悩みませんでした。マスタークラスの中で音大で学ぶような勉強はさせてもらっていたので、特に必要性は感じなかったんです。そのため、音大には進みませんでした。

ーその後、チャイコフスキイ国際コンクールで優勝されましたね。

21歳の時ですね。それまでは学生という立場だったのが、客観的に見てもピアニストとしてのスタートを切らせてもらつて……。特に始めの2年くらいはステージの上で勉強できることがたくさんあって、そこでとても成長できたと思います。家で弾いているだけでは、わからないこともありますし。日本はこれだけホールもたくさんあるので、演奏の機会がたくさんあればあるほど、(演奏家は)どんどん成長できるんじゃないかなと思います。

ーここからは今公演の「くるみ割り人形」についてお伺いします。上原さんのお子さんがバレエを習わされていたので、身近な作品だったのでしょうか?

生でバレエを観たことはあまりなかったのですが、子どもがバレエを始めてからは家でDVDと一緒に観していました。だんだんとバレエがとても身近な存在になってきましたね。バレエの中でもくるみ割り人形は、1曲が短く場面転換が多いので、子どもが飽きずに聴きやすい作品だと思いました。

ー今公演では、絵本作家である下田冬子さんの絵をスクリーンに映すそうですね。どのようなイメージを伝えて描いていただいたんですか?

まずは明るく、子どもたちが楽しくなるような感じにとお願いしました。絵本作家の方だとバレエとはまた違うくるみ割り人形を想像してしまうと思うので、場面の設定をきちんと伝え、作品のDVDを観ていただきましたね。ただ、彼女自身の世界感があるので、あまりあれこれ指定はしないで描いていただきました。

ーピアノだけではなく、ステージに絵を映してお話をするといった演出は、以前からおやりになりたかったのですか?

ここ数年やりたいと思っていました。昔はこんなこと考えられなかつたんですが……。子どもが産まれて、もうだいぶ落ち着いてきたので、ただピアノを弾くだけではないコンサートもやってみたいなど考えていました。

わたしは今までいろいろな社会の方に育ててもらってきたので、今度は自分のできる部分で社会への恩返しをしたいなと思ったんです。クラシックファンだけではなくて、それ以外の方にも喜んでもらえるようなことがしたくて。わたしには子どもがいて身近な存在なので、今だからこそ子ども向けの公演ができるんじゃないかなと思います。

ー“お話”というのは、「くるみ割り人形」のストーリーをお話しされるのですか?

基本的にはストーリーをお話ししますが、もう少しそこに付け加えてもいいという意見を(他公演で)いただいたので、そうしてみようかなと考えています。「くるみ割り人形」は、大人がしっかり理解しようとすると、実はすごく複雑なお話なんです。だから子どもの想像力・世界じゃなければ、パツとは理解できないんですね。子どものほうがすんなり話の中に入つていいけると思います。そんなところがすごく面白い作品ですね。

ーご自分で編曲された今回の「くるみ割り人形」の中で、特に気に入りの曲はありますか?

「花のワルツ」はオーケストラで聴くのとはまた全然違つて、面白いと思いますね。楽しみに聴いていただければと思います。

自分で編曲するのは初めてだったのですが、プレトニヨフ(※3)が編曲したものと混ぜて弾くことになるので、プレトニヨフのものを参考にしつつ、バレエの曲なのでステップが聴こえ、舞台が見えてくるようなイメージで……。ピアノの音域も広いし色彩も豊かなので、そういった良さも発揮できるように意識しました。



ー最後にお客さまへのメッセージをお願いします。

ちょうどクリスマス前なので、一足早いクリスマスの気分を親子で味わっていただければと思っています。お待ちしています!

(取材・文:桑田春花)

※1 ヴェラ・ゴルノスタエヴァ…ロシアのピアニストでモスクワ音楽院の名教師。世界中で活動した後、指導者として多くの生徒を国際コンクールに入賞させるなど多大な功績を残した。2015年1月逝去。

※2 ショパン国際コンクール…1927年より続き、現在世界的に最も権威あるコンクールの一つと言われ、ピアニストを目指す者にとっては最高の登竜門と見なされている。エリザベート王妃国際音楽コンクール、チャイコフスキイ国際コンクール、そして本コンクールを合わせて世界三大コンクールと称される。

※3 ミハイル・プレトニヨフ…ピアニスト、指揮者、作曲家とそれぞれの分野において並外れた才能を發揮し、世界中の観客を魅了している芸術家。1978年、弱冠21歳でチャイコフスキイ国際コンクール・ピアノ部門においてゴールド・メダル及び第1位を獲得し、これにより早くも世界的に認められる存在となった。

さくらプラザホームページにて、上原さんのコメント動画を公開中! ぜひご覧ください。

上原 彩子
Ayako Uehara
(ピアノ)



第12回チャイコフスキイ国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト受賞。

これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュオ指揮NHK交響楽団と共に演奏し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDは日本人ピアニストとして初めて、EMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売されている他、2014年にはキングレコードに移籍し、第1弾として自身の編曲も入れた「上原彩子のくるみ割り人形」をリリースした。



早淵 綾香／樹神 有紀

今回は、2015年12月21日(月)ブランチコンサートVol.17「若き演奏家の室内楽～ベートーヴェンとシューベルトの名曲に挑む～」に出演するヴァイオリン奏者の早淵綾香さんとヴィオラ奏者の樹神有紀さんにご自身のことや演奏曲について伺いました。

—6/27の記念演奏会(※)、さくらプラザのホールで演奏してみていかがでしたか?

早淵:お客様の温かい反応や雰囲気を直に感じることができました。オーディションの時よりも弾きやすかったですし、とても楽しんで弾くことができました!

樹神:自分の好きな曲を弾かせていただいたので楽しかったです。それにホールの響きがとても良くて気持ちよかったです。

—楽器を始めたきっかけをお伺いします。また、なぜその楽器を選んだかも教えてください。

早淵:私が5歳くらいの時に、母は私にピアノを習わせようと思っていたみたいです。でも演奏会に行ったり、CDを聴かせると私はピアノよりもヴァイオリンの音のほうが好きだと言つたそうです。そういった経験でヴァイオリンを習わせてもらいました。なので5歳から今までヴァイオリンを続けています。思い返すと大変だったこともたくさんありましたが、そういった経験が今につながっていると思います。

—早淵さんはステージに立つとガラッと雰囲気が変わって堂々としてますね。

早淵:そうですか。あまり自分を変えようとは思っていませんが、自分の中にある曲のイメージをお客様に伝えたいと思って弾いています。

—樹神さんはなぜヴィオラを弾こうと思ったのですか?

樹神:ヴィオラを弾く人ってだいたい最初はヴァイオリンを弾くものでして、私も最初はヴァイオリンを弾いていました。でもあまりヴァイオリンを好きになれば辞めてしまい、それで中学時代はバレーボールに熱中していました(笑)。ですがバレーボールも中学3年になると結構ハードになってきて、うまくいかないこともたくさん出てきました。そんなとき私の姉が所属していたジュニアオーケストラに、ヴァイオリニストの澤和樹先生のカルテットが教えに来てくださってたんですよ。私はふらっと姉について行つただけでしたが、カルテットのヴィオラ奏者の、市坪俊彦先生に「ヴィオラが足りないから君弾いてくれない?」と言われてしぶしぶ弾いたのがヴィオラとの出会いです。弾いてみたら音がヴァイオリンと全然違うことに驚きました。

Ayaka Hayabuchi Yuki Kodama



—お二人がクラシック音楽に興味を持ったきっかけはなんですか?

樹神:両親が聴いていたからですね。
早淵:私も同じです。

—今回、早淵さんが選んだベートーヴェンの「クロイツエルソナタ」はどういう曲ですか?

早淵:ベートーヴェンが活躍していた時代は、ヴァイオリンソナタっていうとヴァイオリン付きのピアノソナタっていうことが多かったのですが、この曲は協奏曲風に書かれていて、ピアノとヴァイオリンが競っているような曲です。ただ綺麗なだけではないような、そういったところを聴いていただきたいですね。

—樹神さんが今回選曲したシューベルトの「アルペジオーネソナタ」はどういう曲でしようか?

樹神:曲名のアルペジオーネというのは、弦が6本あってチェロみたいに弾く楽器のことなんです。シューベルトがアルペジオーネで弾くために書いた曲なので、それをヴィオラやチェロで弾くとなると運指がとても難しいんですよ。それでも、とてもいい曲なので聴いてほしいし、弾きたいと思いました。

—作曲者の時代背景を勉強したりもするのですか?

樹神:最近は調べるようにしています。シューベルトの作品はきれいなメロディをもった曲がたくさんあります。でもそれらを浅い気持ちで弾いてしまうと台無しにしてしまうというか。きれいなメロディをもった楽章に限って死への憧れ等をモチーフにしていることもあります。今までではそういうところを知らずに弾いていたけど、今は楽曲が持つ繊細さも意識しながら弾くようにしています。

—二重奏の曲はお二人で決めたのですか?

樹神:はい。ヴァイオリンとヴィオラでデュオをやるなら、ハリヴォルセンの「ヴァイオリンとヴィオラのためのパッサカリア」と、モーツアルトの「ヴァイオリンとヴィオラのための2重奏曲」は鉄板なんですよ。他は思い浮かばなかったですね。

—例えば学校で組んでいるカルテットではお二人はメンバーを引っ張るタイプですか?

樹神:基本的には引っ張りませんが、メンバーによって引っ張ることもあるかもしれません。

早淵:私も室内楽のカルテットを組んでいるときは、あまり引っ張らないですね。

樹神:カルテットとか五重奏・六重奏と違って、今回のようなデュオっていうのはソリスト同士の対話みたいなイメージがありますね。お互いがソリスティックに弾くようになると思います。

—曲を弾く前に取り組むことは何かありますか?

早淵:私は曲を何度も聞いてから弾き始めます。楽譜を見てすぐにイメージを持つことも大事だと思うのですが、聴くことから入ることが多いです。



樹神:私は反対にすぐに弾き始めてしまいます。本来は、その曲を勉強してある程度知つてから弾いたほうが良いと思うんですけど。

—今回初めて2人で演奏しますが、どんなコンサートにしたいですか?

樹神:アットホームな演奏会になれば良いなと思います。お越しいただける皆様に楽しんでいただけるような演奏会にしたいです。

早淵:日程的にクリスマスも近いので、楽しい気持ちになって頂けるようなコンサートにできたらと思います!

—ありがとうございました。

(インタビュー:田中 啓介／文:渡辺 駆)

※第1回弦楽アンサンブルオーディション受賞者による記念演奏会…2015年6月27日(土)にさくらプラザホールで行われた、さくらプラザサポートアーティストに選ばれた若手演奏家によるコンサート

さくらプラザホームページにて、おふたりのコメント動画を公開中!ぜひご覧ください。

早淵 綾香 Ayaka Hayabuchi (ヴァイオリン)



現在、東京藝術大学4年在学中。第64回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部入選。第11回大阪国際音楽コンクールAge-H 第3位。第13回日本演奏家コンクール高校の部第1位。増田加寿子、清水高師、エスター・ベレーニ、永峰高志の各氏に師事。

樹神 有紀 Yuki Kodama (ヴィオラ)



愛知県立芸術大学卒業。東京藝術大学室内楽科修士課程3年に在学中。第20回日本クラシックコンクール全国大会弦楽部門第2位。第13回日本演奏家コンクール全国大会弦楽部門特別賞受賞。ヴァイオリンを松本茂、ヴィオラを市坪俊彦、百武由紀の各氏に師事。



2015年12月21日(月) ブランチコンサートVol.17 若き演奏家の室内楽

* 詳細は裏表紙をご覧ください



戸塚区民文化センター
さくらプラザ

アートバザール 2016

利用団体・アーティスト・区民……
新たな出会いが生まれる2日間！

さくらプラザで行われている様々な活動を、
演奏や展示によって紹介する文化的交流の場です。

2016年 木祝
2月11日・12日

入場
無料

ギャラリー

11日(木・祝) 10:00 ~ 17:00
12日(金) 10:00 ~ 16:00

ホール

11日(木・祝) 13:30 ~ 16:00
(開場 13:00)



参加申込は
11月30日まで。
さくらプラザで活動を
紹介してみませんか？



申込から当日までのスケジュール

ホール(舞台)

ギャラリー(展示)

11月

申込締切 2015年11月30日(月)必着

12月

出演団体決定・結果通知 12月中旬までに郵送
*応募者多数の場合は書類選考となります。

1月

チラシ完成 1月上旬
※申込書ご記入の情報をもとに作成いたします。

2月

公演内容打合せ 1月上旬～中旬
※ご来館もしくはお電話にて

リハーサル 2月8日(月)

本番 2月11日(木・祝)13:30～16:00

レイアウト打合せ 1月上旬～中旬
※ご来館もしくはお電話にて

搬入・展示 2月7日(日)
2月8日(月)

展示期間 2月11日(木・祝)10:00～17:00
2月12日(金)10:00～16:00

片付け・搬出 2月12日(金)16:00～

ホール(舞台)募集要項

【募集ジャンル】ピアノ、弦楽器

【応募資格】横浜を拠点として活動を行っている個人・団体

【募集団体数】8団体(出演者は1団体10名程度まで)

【参加費】1団体 5,000円



*詳しくは、募集チラシもしくはさくらプラザホームページをご確認ください。
(申込用紙はホームページからもダウンロードいただけます。)

ギャラリー(展示)募集要項

【募集ジャンル】絵画、写真、書道、手工芸など
ジャンルは問いません。

※ダンスや合唱などの活動紹介も可能ですが、実演はできません。

※ワークショップ開催および作品販売も可能です。

【応募資格】横浜を拠点として活動を行っている個人・団体

【募集団体数】10団体

【参加費】500円／1,000円

※ブース毎に異なります。詳しくは募集チラシをご覧ください。



* 画像はイメージです。

アートバザール当日イメージ



ホール

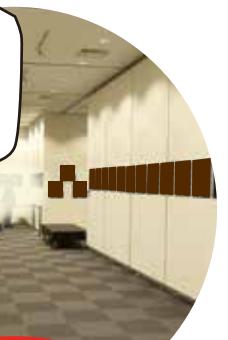


リハーサル室

有隣堂・ハマヤ楽器による、
無料イベント同時開催!
* 詳細は1月上旬発行予定の
チラシをご覧ください。

持ち時間は15分間。
ピアノや弦楽器の演奏による、
各団体の活動紹介です!

作品や活動報告のパネル
による、各団体の活動紹
介です。
ワークショップや作品の販
売もあるかもしれません!



ギャラリー

* ホール、ギャラリーともに入場無料! どなたでも自由にご覧いただけます。
* タイムテーブルは1月上旬に決定します。

さくらプラザ サポートアーティスト 出演決定!

増山 頌子(チェロ)／大澤 理菜子(ヴァイオリン)

13:30～14:00

プログラム

F. クライスター：

モーツアルト：
美しきロスマリン
愛のよろこび
ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ほか
* 曲目、曲順は予告なく変更となる場合がございます。



増山 頌子

大澤 理菜子



さくらプラザ開館2周年企画 作文コンクール 「わたしがさくらプラザに行かない理由」

応募総数9作品の中より審査を行い、下記の結果となりました！たくさんのご応募ありがとうございました。
作品内にていただいた貴重なご意見は、今後の運営の参考とさせていただきます。
また、佳作についてはさくらプラザホームページにて掲載中です。ぜひご覧ください！

(敬称略)



該当者なし



「いいね」がたくさんある場所へ
塩田 友美子

わたしがさくらプラザに行かない理由はふたつある。

一つは、この作文コンクールで初めて存在を知ったからだ。二つ目は、ホームページを見て、利用したいと思えるサービスがなかったことだ。

一つ目の件に関しては、近くに住んでいるのに、なぜ存在を知らないのか考えてみた。それは、広告やチラシが他の区で広まっているからだと思う。なにか面白そうなイベントがあれば、わたしは区をまたいで出かけている。クラシックコンサートも好きで、遠くても足を伸ばすこともある。今回ホームページで、さくらプラザでのコンサートの開催をいくつか知った。敏感に情報収集をしていたつもりが、施設の存在自体を知らなかったのだ。戸塚区周辺に住んでいる知り合い数人にも聞いてみたが、施設は認知されていなかった。それは、宣伝方法が効果的にされていないからではないだろうか。

また二つ目の点に関しては、子育て中に行けるようなイベントが少なかったことが挙げられる。実情としては、子連れで行けるイベントを探している人はとても多い。一つの例としては、隣の区では、毎月子連れ可能なコンサートがある。チラシも子育て広場や集会所数件に配布され、ポスターもバス停の前などの目立つ所に貼ってある。たまに郵送でイベントの告知も来る。そのため、ホールも毎回ほぼ満席だ。こども向けイベントの利点は、若い世代が集まり、末長い利用者となる可能性が大きいことがある。日本ではそこまで一般化していないクラシック部門だけでは集客に限度がある。そのため、イベント内容も多彩なものにする必要があると考える。

また、ターゲットとなる年齢層にも偏りがあるように感じた。中間層だけではなく、定年を迎えた世代や、学生向けイベントを求めている人は多い。様々な環境にいる人や、幅広い世代向けの企画を盛り込むことも必要だと思う。

また、ホームページが新しくてきれいな施設の魅力があり伝わらないように感じる。フレッシュで楽しそうな、さくらプラザの良さが伝わる親しみやすさが欲しいと思う。

様々な提案を記載したが、より人々から親しまれる施設となるように願っている。戸塚に足を運ぶことがよくあるが、ふらっと寄りたくなるような、憩いの場になるしかけができればうれしく思う。



わたしがさくらプラザに行かない理由
これから行きたい「さくらプラザ」
わたしがさくらプラザに行かない理由

塚原 誠二
津留 美由
安田 ゆう

わたしがさくらプラザに行かない理由
わたしがさくらプラザに行かない理由

澤井 敦
細江 隆一

2015年8月開催

2015年8月31日にさくらプラザは開館2周年を迎えました。今後のために開催した作文コンクールの結果を発表します！



連載第6回目は、11/11(水)リリースのTHE LEAPSの記念すべき1stミニアルバム「オンリーワン！」収録曲「HAPPY BIRTHDAY」のミュージックビデオ撮影レポートを、リープスのふたりがセルフレポートしちゃいます☆
さあ！早速行ったるチャ～～ン！

9月最終週、お天気にも恵まれ……（雲ひとつない晴天！）

ロケ地はやっぱりふたりの地元・戸塚！

そして今回は……田舎戸塚区長、区役所地域振興課、南部農政事務所のご協力をいただき、2013年に新庁舎として完成した戸塚のランドマークとも言える建物！（3、4階にさくらプラザも入ってる♪）戸塚区総合庁舎8階にある屋上庭園にて撮影を敢行させていただきました！



THE LEAPSは事務所に所属せず、マネジメントやCDレーベル業務などを自分たちで賄う“セルフプロデュース”バンド。なのでビデオ撮影も、ハンドメイド！飾り付けや……音源のチェックも自分たちで。

さらに“セルフ”感を出すために、撮影に使う機材は誰もが持ってる携帯電話“iPhone”的ムービーアプリで撮影しちゃいます！

準備万端でいよいよ撮影スタート。でも、この日は本当にすごかつた……！



なんと、リープスも大好きな戸塚のマスコットキャラクター「ウナシー」がビデオに出演するために遊びにきてくれました……!!!

ウナシーもリープスの奏でるロックンロールに合わせて手拍子&ダンスで盛り上げてくれました！

ここで、ちょっと休憩……☆



区役所の方にご案内いただき、普段入ることのできない屋上ヘリポートへ！

戸塚を360度一望できる絶好のロケーション！

「うちの家が見える～！」「遠くのランドマークタワーが見える～！」など興奮を隠しきれないふたり。またひとつ戸塚のイイところを知ってしまいました♡
さあ！8階に戻って撮影はどんどん進みます。



次は、楽器を持ってのメインシーン撮影。

ここはやはりキリッと、普段の格好いいTHE LEAPSをバシッと収めました。

色々な角度から、楽曲「HAPPY BIRTHDAY」の世界観を作りあげていきます！



……こうして仕上がったミュージックビデオ「HAPPY BIRTHDAY」はYouTubeのTHE LEAPSオフィシャルチャンネルで現在公開中！見れば戸塚の良いところを新発見できちゃうかも！そして全国へと「戸塚区出身バンド代表！」「2ピースバンド代表！」（いずれも自称）を発信するゴキゲンなTHE LEAPSのロックンロールはこれからも止まらない！
さあ！「オンリーワン！」なTHE LEAPS、次回はどこへ行ったるチャン？!



THE LEAPS(ザ・リープス)

横浜市戸塚区出身。生まれも育ちも超ご近所な幼なじみ同士であるGt&Vo・MAYOU(ex.ロータ18号)とDr&Vo・NANA-A(ex.THE PINK☆PANDA)による2ピースロックバンド。11/11に1stミニアルバム「オンリーワン！」をタワーレコード限定(横浜VIVRE店でも購入可!)リリース！

フランスの魅惑

-L'allure de la France-

Vol. 5

『モネの睡蓮(後編)

~美と創造が咲き誇る結晶~

こんにちは、ピアニストの安田英主です。

今回はモネの『睡蓮』のモデルになったモネ邸へ早速ご案内します。

モネ邸があるのはフランス北西に位置するノルマンディー地方・ウール県内、ジヴェルニー。ここはモネ最終の制作拠点であり住居でした。中世の面影を残しつつ田園風景が印象的なこの町の一画に長閑な時を刻みモネ邸は佇んでいます。

一步足を踏み入れると、四季折々に変化する花木や草花が艶やかに迎い入れてくれ、その中にモネやその家族が暮らした住居があります。

家の中には、おびただしい数の日本浮世絵版画のコレクションが!

若い頃から日本美術に触れた日本好きだったモネですが、この邸宅だけで一つの美術館が成立しそうです!

日本の影響は他にも。

今回のメインである睡蓮の庭の手前に弧を描くように竹林が存在し、その横を流れる川に映った陰影は日本情緒を漂わせる奥ゆかしいスポット。そして竹林や大きなブナの木を抜けると、あの作品そのままの睡蓮が目の前に!!



ひでかず
安田 英主プロフィール
第6回クライネフ国際ピアノコンクール、グランプリ及びクラシック作品最優秀演奏賞受賞。18歳でパリ国立高等音楽院ピアノ科首席合格(ジャック・ルヴィエ氏師事)その後、国家資格のディプロマを得て修了。現在パリ在住。
2013年5月3枚目となるCDを発売、タワーレコード渋谷店にてミニライヴ&サイン会を開催。2014年7月4枚目となるCDを発売、ヤマハ銀座店などで同イベントを開催。2015年9月、5枚目のCD「フランスで生きた作曲家たち」を発売。

2016年2月18日(木) ブランチコンサートVol.18 厳冬の先に～悲哀のロシア～

* 詳細は裏表紙をご覧ください



観光客で賑わうモネ邸



睡蓮の庭

日本の趣を醸し出す竹林

さくらプラザ サポートアーティストによるコンサート・レビュー

未来を担う若い演奏家に、さくらプラザ主催の公演をレポートしてもらうコーナーです！

Vol. 3

アンコール曲は、
エルガー：愛の挨拶
でした！



終演後 新倉さん、伴奏の櫻井さんと

ブランチコンサートVol.14 新倉 瞳
2015年6月18日(木) 11:30開演

今回のレビュー

ましやま しらうこ
増山 頌子(チェロ)

桐朋学園大学研究科在籍。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。

[初めて買ったCDは？]
ヤーノ・シュ・シュタルケルのポップ・小品集

[最近はまっていることは？]
料理、寝ること

[好きなたべものは？]
ほうれん草(野菜全般)、牛肉



Q3 演奏家として参考になつたところは？
Q2 心に残つた曲とその理由は？
Q1 本日のコンサートはいかがでしたか？

瞳さんは、樂譜の奥に潜む作曲家の想いに、彼女自身の気持ちを重ねて弾いていたようだと思いません。瞳さんの最後列で聴いていましたが、その想いがひしひと伝わってきました。私も瞳さんのように、作品に心をよせ、素直な気持ちがお客様に伝わる演奏をしたいと思います。

ブラームス「シェロンソナタ第一番」です。ブラームスは、作曲の先生ショーマンの妻、名ビニアニの音域を担当しているエリオを通して、あたかも大好きな曲です。瞳さんの持つている深く思慮的な音が、演奏を通してさらにエリオの美しさを私たちに見事なものだと感服いたしました。

一言でいえば「来て良かつた！」です。新倉瞳さんは、日本での先生が同じ桐朋学園の毛利伯郎教授です。瞳さんに初めてお会いしたのは毛利門下生の発表会。私は幼稚園生で「きらきら星」を弾きましたが、瞳さんは立派に「コンチエルト」を弾いていて、すごいお姉さんがいるな、と思った記憶があります。当時から抜群の安定感をお持ちでしたが、今、リードの音域を担当しているエリオを通して、あたかも大好きな曲です。瞳さんの持つている深く思慮的な音が、演奏を通してさらにエリオの美しさを私たちに見事なものだと感服いたしました。

さくらプラザ
ユーズーズ・ヴォイス

USER'S VOICE

さくらプラザをご利用いただいた団体の方の声を毎号お届けするコーナーです。

Vol.4
戸塚ゴスペルコンサート実行委員会

QUESTION

1. どんな活動をしている団体ですか？

プロのアーティストと、そのプロに指導を受けた約100名の市民が一緒にステージに立つ「戸塚ゴスペルコンサート」を企画・運営しています。また、コンサートのPRのために、自分たちだけでライブ活動等も行っています。

2. どんな方が参加をしていますか？

現在は、区内在住の11名が実行委員として活動しています。また、昨年までの10回のコンサートで、延べ900名を超える市民のみなさんが「市民クワイア」としてステージに立ち、地域交流の機会となっています。

3. 活動のモットーを教えてください。

「歌う側聴く側双方に、元気・勇気・力を与えてくれるゴスペルという音楽で、自分の住む街・戸塚を盛り上げていこう！」です。

4. さくらプラザを選んだ理由、おすすめポイントを教えてください。

なんといっても駅からのアクセスのよさ、設備や音響の素晴らしさです。昨年ワークショップで利用したリハーサル室は周りに気兼ねすることなく本番ながらの音量を出すことができ、ガラス張りなので通りかかる人が足を止めてくれてコンサートの告知にもつながりました。



公演の様子



实行委員長:柴田恵美さん

前号の後ろ姿は…

戸塚で和紙専門店を営んで35年！
「とつか和紙」の今井武雄です。



戸塚駅西口から徒歩5分。サクラス戸塚店の裏に緑色の暖簾が目を引く、とつか和紙のお店があります。お店の中に入ると、なにやら懐かしい雰囲気。和柄の道具箱や、人形、絵など温かみを感じる品物がたくさん置いてあります。店主の今井さんに、和紙店を始めた理由・そして和紙の魅力について伺いました！

親に逢いに行こう！

とつか和紙

住所: 横浜市戸塚区
戸塚町4789-2

【営業時間】
9:30～17:30
日曜・祝日定休

TEL: 045-864-5984



親に一問一答！

Q. 和紙屋を始めた理由は？

- 100年以上の歴史を持つ東京・浅草橋の田中和紙が本家で、1980年に(田中和紙)横浜店として戸塚にオープンしたのが始まりです。2001年に独立をして、とつか和紙という店名に変えたわけです。独立した今でも田中和紙とは付き合いは続いています。日本の紙といえば和紙ですが、明治になって洋紙が入ってきて、どこの店も和洋紙店に変わりました。そういう流れの時に田中和紙は、あえて和紙に特化した商売を始めるわけですね。



次号の親には・・・？

哀愁漂う後ろ姿から何処の親仁さんだろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します！





さくらプラザコンサートスケジュール

隔月、金曜夜8時、ベートーヴェンのピアノの調べに酔いしれる。

若林 頸セルフプロデュース

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全32曲

各公演ともに全席指定 前売 2,000円・当日 1,500円

Vol.10 11/20(金)

Vol.11 1/22(金)

Vol.12 3/18(金)

各公演 20:00開演



好評
発売中

ファミリーコンサート 親子のための特別企画

上原 彩子と楽しむ「くるみ割り人形」

12/12(土) 14:00

全席指定 一般 3,000円

子ども 1,000円 (4歳～中学生)

親子 2,500円 (一般1名+子ども1名)

上原 彩子 (ピアノ・おはなし)



好評
発売中

新春さくらプラザ寄席

「泣く落語」～其の参 文七元結～

1/10(日) 15:00

全席指定 横浜市民 2,500円

一般 3,000円

三遊亭 文之介 橋家 文左衛門

柳家 小せん ダーク広和



好評
発売中

新たな出会いが生まれる2日間！

さくらプラザアートバザール 2016

2/11(木・祝)13:30～16:00

全席自由／入場無料

出演：

さくらプラザ サポートアーティスト

増山 順子 (チェロ)

大澤 理菜子 (ヴァイオリン) ほか



ギャラリー 2/11(木・祝) 10:00～17:00

2/12(金) 10:00～16:00

抽選申込

バッハ“シャコンヌ”、パガニーニ“悪魔の笑い”

前橋 汀子プロデュース Vol.5

無伴奏ヴァイオリン・リサイタル

4/23(土) 14:00

*Vol.5より14:00開演となります。

全席指定 戸塚区民 3,000円／一般 3,500円

前橋 汀子 (ヴァイオリン)



Ticket 11/8(日)より抽選申込受付

締切:1月31日(日)必着

往復はがき 応募用紙 (HPの応募フォーム

いずれかの方法にて申込み

※詳細はチラシまたはさくらプラザHPをご覧ください。

※申込み多数の場合は抽選となります。

編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。クラシック公演のみならず様々な講座やワークショップも開催してきた1年でした。これからも皆さまにお楽しみいただけるような施設をめざし、スタッフ一同頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。(飯島・桑田)

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

室内楽は音楽の喜びそのもの! 6年にわたるシリーズ

鈴木 理恵子 室内楽シリーズ

Vol.3 「ヴァイオリンとギターの調べ ～聖夜の室内楽～」



12/19(土) 15:00

全席指定 一般 3,000円

ペアチケット 5,000円

鈴木 理恵子(ヴァイオリン)

莊村 清志(ギター)



©Sayaka Ikemoto ©Wataru Nishida

Vol.4 「フランス名曲集

～美しき夕暮れ～



2/14(日) 14:00

*Vol.4より14:00開演となります。

全席指定 一般 3,000円

ペアチケット 5,000円

鈴木 理恵子(ヴァイオリン)

若林 頸(ピアノ)



©Wataru Nishida

Ticket さくらプラザ電話予約

11/18(水)14:00～

*窓口販売は翌日9:00から

世界で活躍する若手アーティストが贈る…45分間の優雅なひととき。

ブランチコンサート

各公演ともに全席指定 1,000円



Vol.17 若き演奏家の室内楽

～ベートーベンとシューベルトの名曲に挑む～

12/21(月) 11:30 早瀬 綾香(ヴァイオリン)

樹神 有紀(ヴィオラ)



Vol.18 厳冬の先に

～悲哀のロシア～

2/18(木) 11:30 安田 英主(ピアノ)



バッハ“シャコンヌ”、パガニーニ“悪魔の笑い”

前橋 汀子プロデュース Vol.5

無伴奏ヴァイオリン・リサイタル

4/23(土) 14:00

*Vol.5より14:00開演となります。

全席指定 戸塚区民 3,000円／一般 3,500円

前橋 汀子 (ヴァイオリン)

抽選申込



TEL : 045-866-2501 FAX : 045-866-2502

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17

戸塚区総合庁舎 4F

<http://www.totsuka.hall-info.jp>

event@totsuka.hall-info.jp



Vol.14

11・12月号